

4. 地域別構想【山田地域】

1) 山田地域の現況と課題

山田地域は、世帯数は増加していますが、定住人口の減少、少子高齢化が進行しています。また、地域の主要な産業は農業ですが、農業従事者の高齢化、後継者不足等がおきています。これらに対応していくためにも、農業と連携した観光や産業の振興、地域特性を活かした魅力ある居住環境の形成を図ることが課題です。

また、商店等の利便機能の無い農村集落地が散在するなど、地域の生活を担う商業地の形成、小見川地域への連携の強化が必要です。

■土地利用の課題

地区拠点	<p>【府馬地区周辺】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の生活を担う商業業務機能等の維持及び誘導 <p>【山田区事務所周辺】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の公共公益施設等の維持
観光交流拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・府馬の大クス周辺、橋ふれあい公園周辺のそれぞれの特性を活かした魅力の向上 ・鳩山地区の観光農業施設周辺の観光農業の拠点としての機能の向上
農村集落地等（田園定住地区）	<ul style="list-style-type: none"> ・無秩序な住宅地開発の抑制、散在して形成された住宅地の居住環境や生活利便性の維持、向上
沿道利用検討区間	<p>【主要地方道旭小見川線（小見川市街地～地区拠点）沿道】</p> <p>【東総有料道路～一般県道大栄栗源干潟線沿道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モータリゼーションに対応した生活サービス機能等の計画的な沿道利用の誘導
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・あずま台工業団地の維持 ・豊かな自然環境や優良農地の保全、また、ゴルフ場の維持 ・主要地方道佐原椿海線沿道の神生地区（面積約 60ha）の土地活用

■交通環境

道路網	<p>【地域連携軸の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携軸を構成する道路の整備 ・主要地方道佐原山田線から主要地方道旭小見川線をつなぐ延伸ルートの検討 <p>【地域の生活を支える道路の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の連絡性を向上する道路の整備 ・交通安全性の確保（道路幅員や線形の確保等） <p>【安全で安心な歩行空間等の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量が多く、歩道が無い区間の安全性の向上
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの利用促進 ・高速バス利用の利便性の向上（自家用車からの乗り継ぎの確保等）
観光振興	<ul style="list-style-type: none"> ・市域や地域に散在する観光資源を結ぶ、交通手段別のルートの形成

■自然環境、歴史的資源、景観

自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然環境や優良農地の保全 ・耕作放棄地の増加や山林の荒廃への対応
歴史的資源	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定天然記念物の府馬の大クスの維持、活用
景観	<ul style="list-style-type: none"> ・谷津田の自然景観の維持 ・土砂採取等による自然景観等の破壊への対応 ・田園景観の維持

■生活環境

安全、安心	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者や高齢者など、すべての人が、安全、安心に暮らせる環境の形成 ・地域のコミュニティの維持、形成
快適	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅の老朽化等の対策 ・公園・広場の改修や整備 ・牧野の森整備事業の促進 ・老朽化した水道施設の更新・改修 ・農業集落排水処理施設の改築更新、浄化槽の普及促進

2) 山田地域の将来の姿

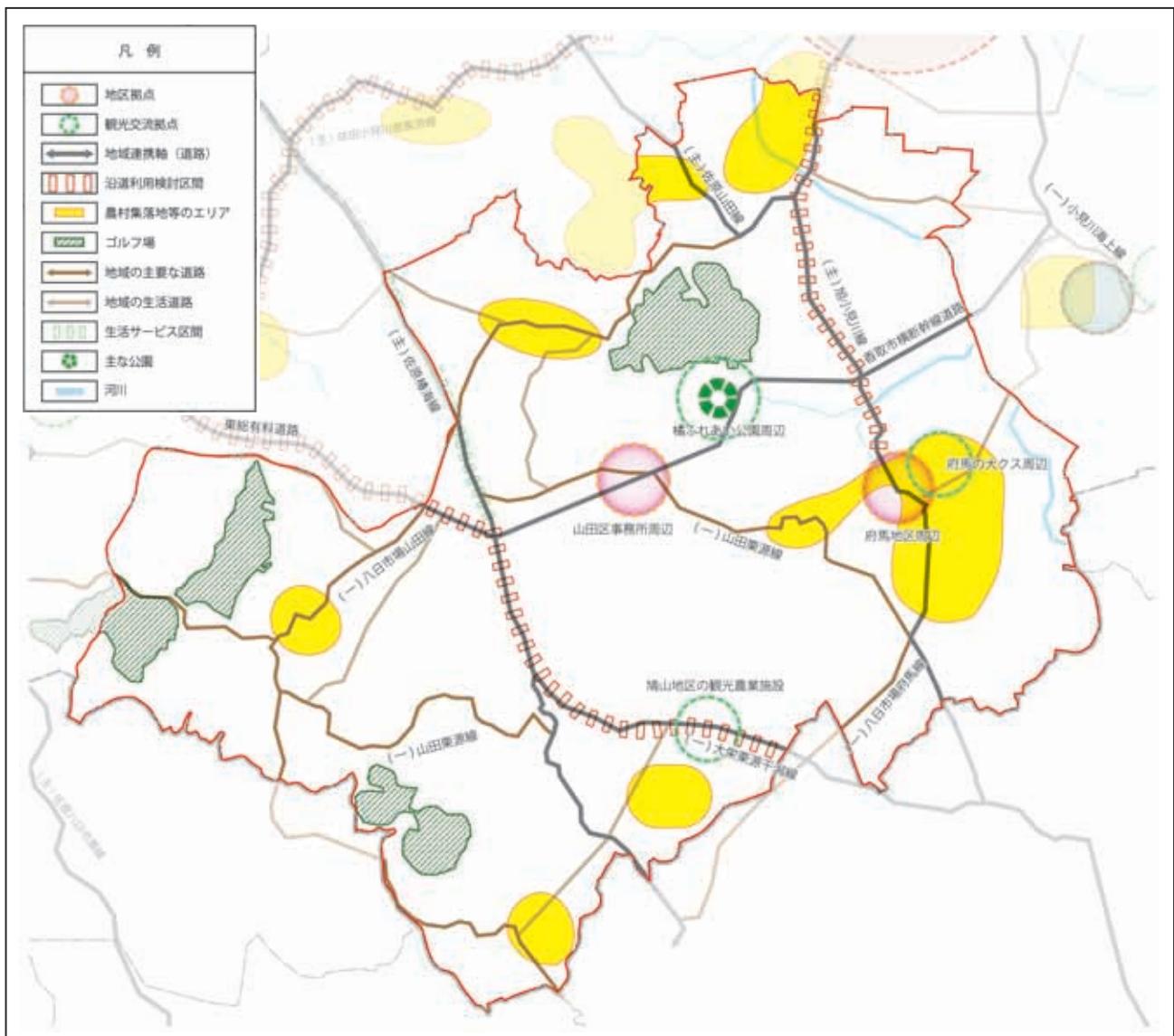
(1) 地域の将来像

最先端農業や環境にやさしい循環型エネルギーなど、新しい技術の導入や産業の誘導を図り、全国のモデルとなるような新たな地域の形成を目指すとともに、自然や農業にふれあえる交流の場としての地域づくりを目標とし、地域の将来像を次のとおりとします。

「自然、農業、生活が共生し、新たな交流が生まれるまち 山田」

(2) 地域の将来構造

全体構想の香取市の将来都市構造を基に、地域内を結ぶ主な道路、地域の潤いを創出する河川、憩いの場となる主な公園、農村集落地等の生活を支える身近な商業業務機能の立地するまたは立地を可能とする道路沿道（生活サービス区間）を配置します。



3) 地域づくりの方針

(1) 土地利用の方針

豊かな自然環境と共生し、市の主要産業である農業を活かした多様な交流が生まれる土地利用の形成を目指します。

①地域の特性を活かし、住みつけられる土地利用の形成

-1. 地域の個性を活かした、田園定住区域の形成

- ・主要地方道旭小見川線等、主要な道路沿いに立地する府馬や神生等の農村集落地を維持するとともに、定住を支えるゆとりある住宅地の形成を図り、農村集落地が農地や里山と共生する田園定住区域の形成を図ります。
- ・新たな定住者を受け入れるため、空き家情報の収集・提供体制の整備など、農村集落地内の空き家、空き地の有効利用を図ります。
- ・地域内に散在する農村集落地では、現在の集落環境を維持しながら、建替や改築時には防災性の向上を図り、良好な居住環境の形成を図ります。
- ・農村集落地周辺では、交通問題の発生や田園景観の混乱を防止するため、田園環境と調和する開発を適正に誘導します。



-2. 山田区事務所周辺、府間地区周辺（地区拠点）の形成

- ・山田区事務所周辺は、地域住民の生活や活動を支える拠点と位置づけ、行政機能、コミュニティ機能、文化機能の施設等の維持、充実を図ります。
- ・府馬地区周辺は、山田地域の日常生活を支える拠点として、身近な生活を支える生活サービス施設や利便施設等の立地に努めます。
- ・地区拠点周辺では、道路整備や交通安全施設の整備を進め、安全な拠点形成を図るとともに緑化や建物のデザイン等に配慮し良好な景観形成を図ります。



-3. 産業系土地利用の維持・形成

- ・工場・事業所が立地するあずま台工業団地は、就業機会の確保と地域の活力維持のため、操業環境の維持・充実を図ります。
- ・主要地方道佐原椿海線と一般県道八日市場山田線との交差部に位置する神生地区は、産業動向に配慮しつつ、産業系土地利用の検討を進めます。

-4. 身近な生活を担う生活サービス機能の維持、形成

- ・商業業務機能が立地している主要地方道佐原椿海線（東総有料道路以北区間）は、身近な生活を担う生活サービス区間とし、商店等の身近な商業業務機能の維持、誘導を図ります。

-5. 都市との交流の場であるゴルフ場の維持、活用

- ・ゴルフ場は、周辺の自然環境や景観と調和したレジャー・レクリエーションの場としての維持を図ります。また、都市住民との交流など、地域の活性化につながる仕組みづくりを検討していきます。



②田園環境に配慮した土地利用の方針

-1. 沿道利用検討区間の適正な土地利用誘導

- ・東総有料道路～一般県道大栄栗源干潟線及び主要地方道旭小見川線の沿道利用検討区間は、周辺の農地や自然環境との調和に配慮し、適正な土地利用を誘導します。

-2. 地域の産業を支え、豊かな環境を創出する自然環境の保全、育成

- ・黒部川周辺の水田や地域南部の畑地等、農振農用地に指定されている優良農地（農業生産地区）は、今後とも農業生産基盤として保全を図ります。また、千葉県が府馬地区で進めている経営体育成基盤整備事業を推進し、大規模経営による土地利用型農業の確立を図ります。
- ・多面的な機能をもつ山林（森林保全地区）は、適正な維持管理を行う仕組みづくりを検討し、保全を図ります。
- ・不法投棄の監視や通報、道路沿いの山林の適切な管理等、地域と行政が協力してごみの不法投棄の防止に努めます。
- ・地下水や自然環境の保全を図るために、「産業廃棄物最終処分場設置に反対する宣言」を尊重します。

良好な一団の水田



③地域特性を活かした観光の活性化（観光交流拠点の形成の方針等）

-1. 農業を活かした交流の場の形成

- ・鳩山地区の観光農業施設周辺等は、地域の農産物の直売や地域の食材を使った料理の提供等による観光振興や都市住民との交流促進を図るとともに、市民農園や貸し農園等、都市住民が農業と親しめる場の充実・拡大に努めます。



-2. 自然にふれあえる交流の場の形成

- ・橋ふれあい公園周辺は、周辺の自然環境を活かした自然体験型の機能を持つ牧野の森の整備を図るとともに、公園区域を拡大し、交流の場となる機能の充実を図ります。
- ・市民や都市住民の交流の場として、生涯スポーツ機能の充実を図ります。

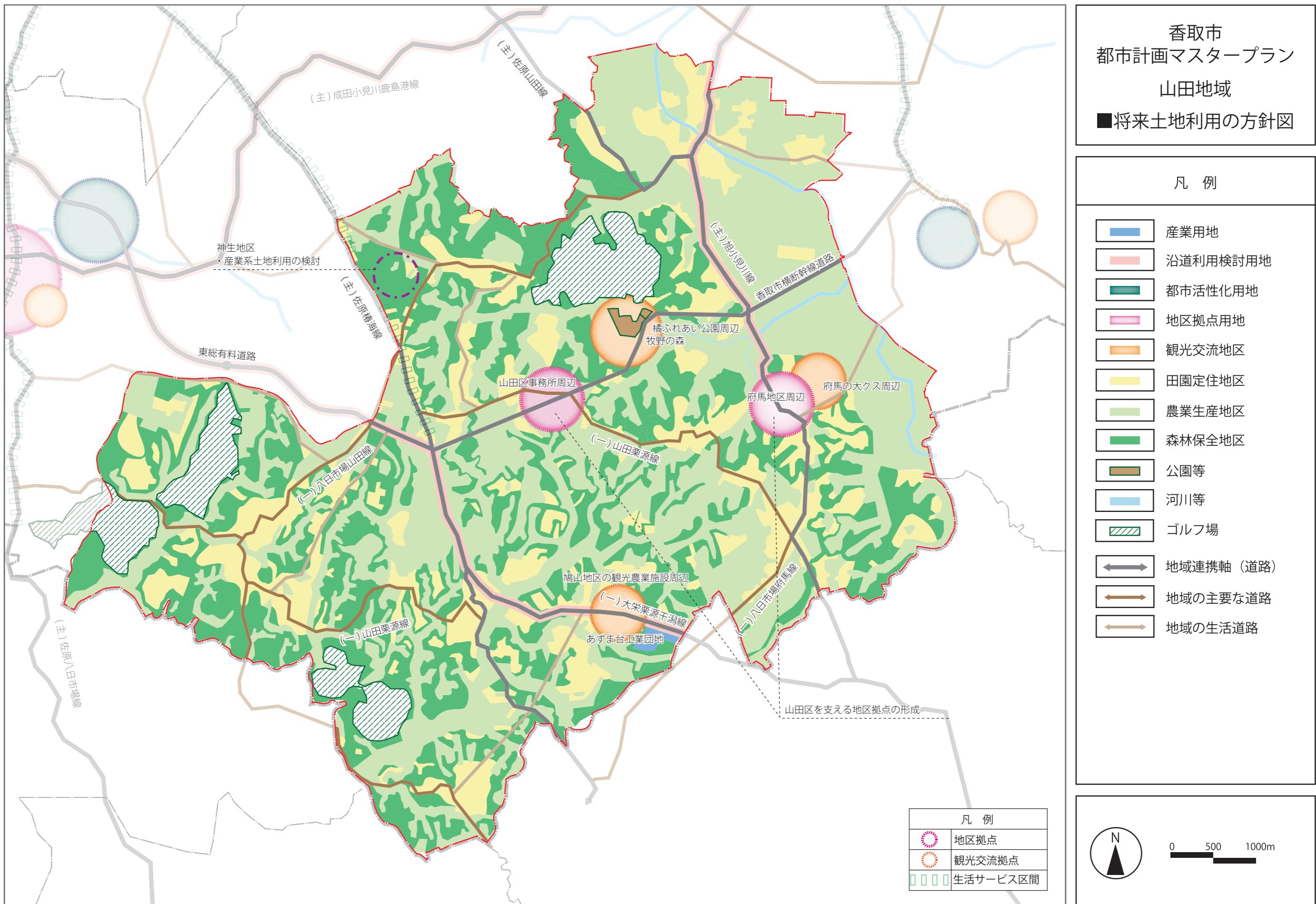


いきいき山田 鯉のぼりまつり(橋ふれあい公園)



-3. 観光機能の充実

- ・鳩山地区の観光農業施設や良好な谷津田の景観ポイントなどの観光資源を紹介するための、また、海外からの来訪者にも対応した案内板等の設置を図ります。



(2) 交通環境の方針

①道路網の整備方針

「香取市幹線道路網整備計画」に基づき、都市連携軸、地域連携軸を形成する道路を骨格に地域内を有機的に連絡する道路網の形成を目指します。

-1. 都市連携軸、地域連携軸の整備

- ・佐原市街地を結ぶ主要地方道佐原椿海線、小見川市街地を結ぶ主要地方道旭小見川線の整備（道路拡幅、線形改良等）を促進します。
- ・主要地方道佐原椿海線と旭小見川線をつなぎ、山田地域内の連携を高める香取市横断幹線道路の整備を図ります。
- ・主要地方道佐原山田線から主要地方道旭小見川線をつなぐ延伸ルートを検討します。

-2. 地域をつなぎ、生活を支える道路網の形成

- ・地域内を連絡する一般県道山田栗源線、八日市場山田線、八日市場府馬線を地域の主要な道路とし、道路利用の安全性、利便性の向上を関係機関に要請していきます。
- ・連携軸等の主な道路をつなぎ、地域の生活を支える主な市道を地域の生活道路とし、幅員の狭い区間の改善等を図ります。
⇒一般県道八日市場山田線と山田栗源線をつなぐ市道Ⅱ-40号線の整備（現道拡幅）を図ります
- ⇒東総有料道路と一般県道山田栗源線をつなぐ市道Ⅱ-47号線・6592号線の整備（現道拡幅）を図ります。
- ⇒主要地方道旭小見川線と香取市横断幹線道路をつなぐ市道Ⅰ-49号線の整備（現道拡幅）を図ります。
- ⇒主要地方道旭小見川線と一般県道小見川海上線をつなぐ市道Ⅱ-43号線の整備（現道拡幅）を図ります。
- ⇒主要地方道佐原八日市場線と一般県道八日市場山田線をつなぐ市道Ⅰ-68号線の整備（現道拡幅）を図ります。
- ⇒主要地方道佐原椿海線と一般県道八日市場山田線をつなぐ市道Ⅱ-39号線の整備（現道拡幅）を図ります。

-3. 安全で安心な歩行空間等の確保

- ・地区拠点や教育施設周辺の道路は、歩行者の安全性を確保するため、歩道の設置や交通安全施設の整備を行います。

②公共交通の整備方針

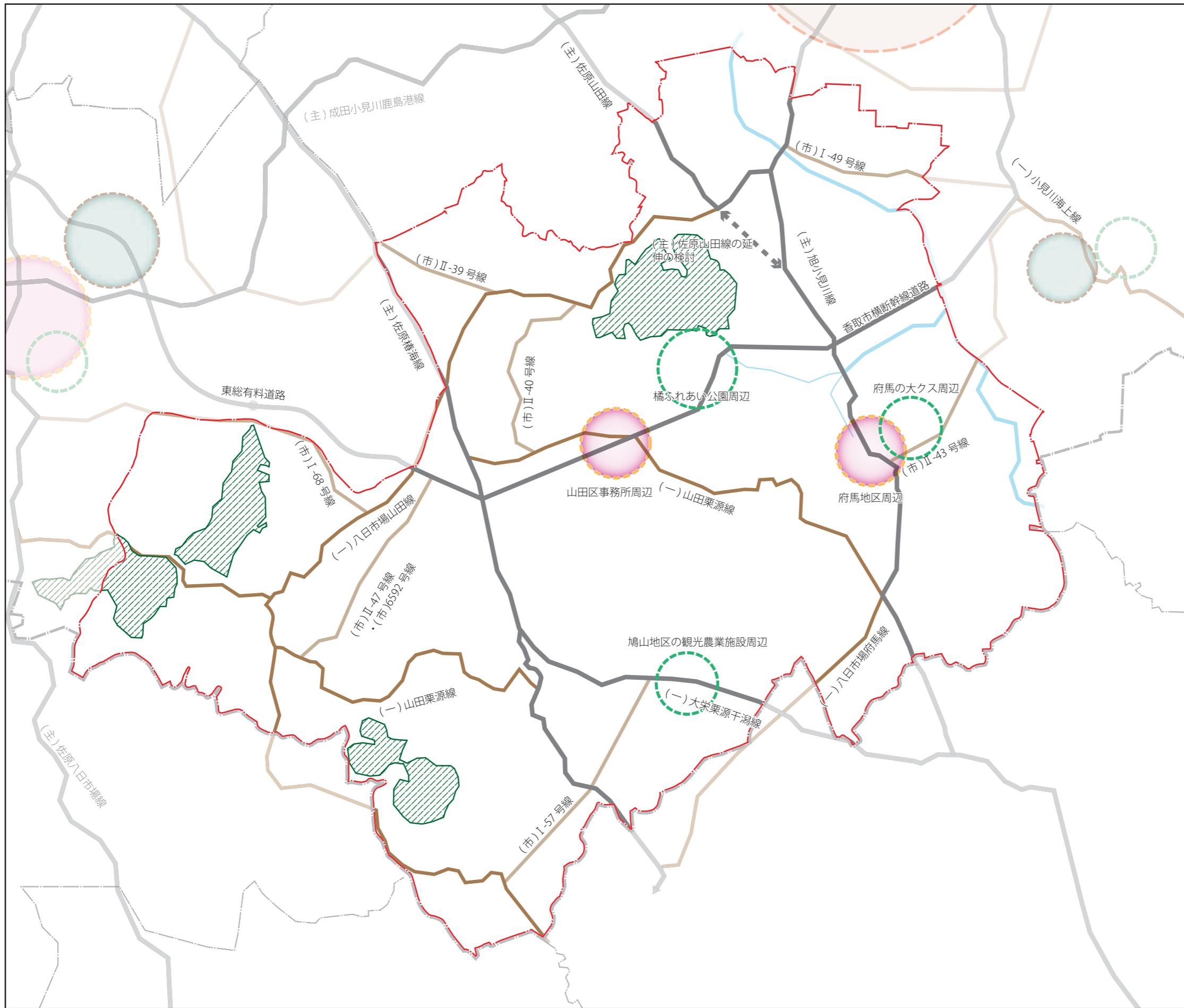
「香取市地域公共交通総合連携計画」に基づくバス利用の利便性の向上を目指します。

- ・路線バスの利用者の増加をはかり、路線バスの維持・存続を図ります。
- ・地域の状況やニーズ等の変化に対応した利便性の高い循環バスの運行を図ります。
- ・鳩山地区の観光農業施設の利用者と高速バス利用者の効率的な駐車利用に努め、現在の駐車場の有効利用を図ります。

③観光振興を支えるネットワークの形成

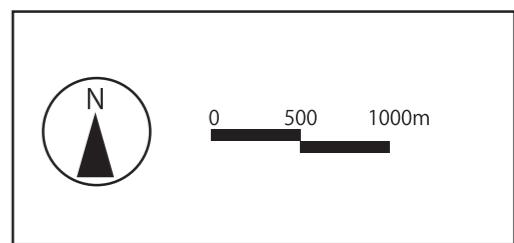
歩行者、自転車、自動車・バス等の交通手段により、地域内の観光資源を結ぶ多様なルートの形成を目指します。

- ・交通結節点である佐原駅、水の郷さわら、小見川駅、また、観光交流拠点である府馬の大クス周辺、橘ふれあい公園周辺、鳩山地区の観光農業施設周辺を結ぶ回遊性のあるルートの形成についての調査を行います。
- ・高速バスの停留所である鳩山地区の観光農業施設から、地域内の観光交流拠点を結ぶ公共交通等の導入についての調査を行います。
- ・小見川地域のまほろばの里案内所、阿玉台地区から府馬の大クス周辺、橘ふれあい公園周辺を徒歩や自転車で回遊できるルートの形成についての調査を行います。



香取市
都市計画マスタープラン
山田地域
■将来道路網図

凡 例	
←	地域連携軸 (道路)
→	地域の主要な道路
↔	地域の生活道路
●	地区拠点
○	観光交流拠点
■	河川
▨	ゴルフ場



(3) 自然環境、歴史的資源、景観の方針

豊かな自然環境や自然景観の保全、育成を図るとともに、地域を活性化する資源としての活用を目指します。

①自然環境の保全と活用の方針

まとまった緑や谷津田及び農業を支える農地等の自然環境の保全、育成を図ります。また、都市住民との交流の場としての活用を目指します。

-1. 自然環境の保全・活用

- ・黒部川や中川の流域では、水辺環境などの良好な自然環境の保全を図ります。
- ・農村集落地の背景となっている一団の山林や照葉樹が生育する自然度の高い山林の保全を図ります。
- ・神生地区の整備にあたっては、周辺の自然環境に配慮した利用を図ります。

-2. 里山・里川の保全

- ・人との係わりにより利用されてきた里山や河川は、貴重な生育環境が残り、地域固有の景観を形成しています。この環境を保全し、また、自然にふれあえる場としての活用を図るため、里山制度の活用等により、里山、里川の保全を図ります。
- ・高齢化等により手入れが十分でない里山については、都市住民等、多様な人々の参加を得て里山の維持・管理を図ります。
- ・ホタルの生息場所となっている水辺の保全を図ります。

牧野の森植物観察会



-3. 水とみどりのネットワークの形成

- ・小見川市街地からつながる黒部川は、水辺環境の保全を図るとともに、河川に沿って歩行者等が移動できるよう散策路や通路の整備を検討し、水とみどりのネットワークの形成を図ります。

②歴史的資源の保全と活用の方針

府馬の大クスの他、観福寺等の地域に残る歴史的資源の維持、保全を図るとともに、交流資源としての活用を目指します。

- ・府馬の大クスや観福寺等、貴重な自然環境や歴史的景観を形成する地域資源の保全を図るとともに、田園空間整備事業により整備された施設等の適切な維持・管理を図ります。
- ・神社仏閣等の地域に残る歴史的資源の維持、保全を図るとともに、交流資源としての活用を図ります。

府間の大クス



宇賀神社



③景観形成の方針

山田地域の有する多様な景観の維持、形成を目指します。

-1. みどり豊かな集落景観の保全

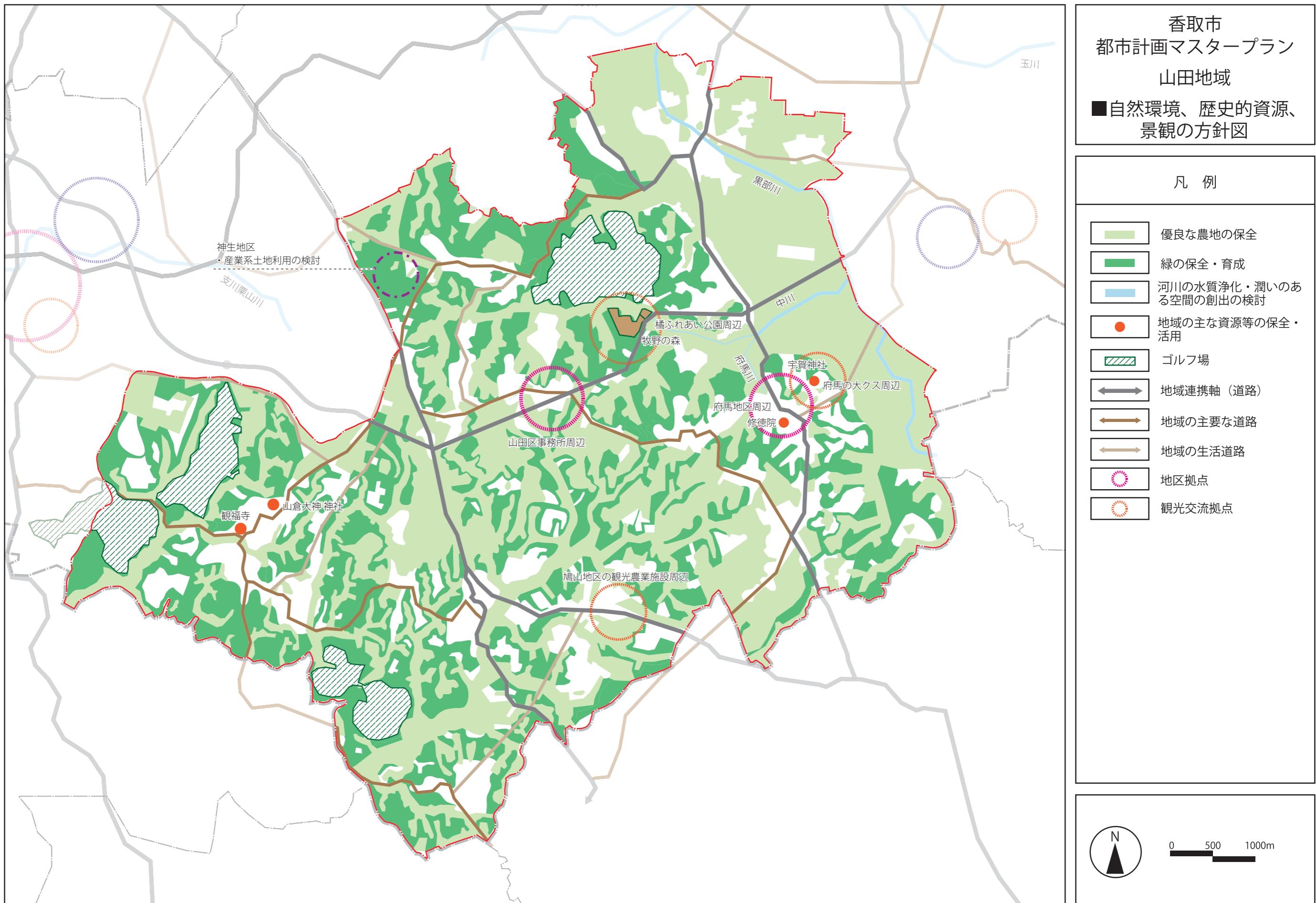
- ・農村集落の屋敷林や生垣の維持・管理に努め、みどり豊かな集落景観の保全を図ります。

-2. 北総台地の景観保全

- ・地域北西部に広がる北総台地は、谷津田が台地部に入り込んだ北総台地特有の景観を形成しています。この農地と山林からなるみどり豊かな景観の保全を図ります。
- ・山砂採取を行う場合は、現況の景観への配慮や土砂採取跡地の緑化による周辺環境との一体的な景観の形成(再生)等への協力を要請するなど、適正な管理に努めます。

橋ふれあい公園からの眺望





(4) 生活環境の方針

地域の中で誰もが安心して、健康的に暮らしていけるまちづくりを目指します。

①安全、安心な生活環境の形成の方針

- ・地域の医療、福祉機能の維持を図るため、関係機関への要請等に取り組みます。また、佐原地域や小見川地域の医療・福祉施設等の利用の利便性の向上に努めます。
- ・情報通信網の整備を進め、医療、福祉のネットワーク化による情報提供や高齢者、障害者等の生活支援について調査を行います。
- ・生涯学習やスポーツ、地域のコミュニティ活動の場として、学校施設の開放を図ります。また、統廃合が行われた場合は、地域住民と協働して跡地活用を検討し、地域の状況に配慮した利用を図ります。
- ・集落内では防犯灯の設置など、安全性の向上を図ります。
- ・地域防災計画に基づいて、防災対策を進め、災害に強いまちづくりを進めます。
- ・河川の治水対策、土砂災害等の災害防止策を進めます。また、集中豪雨による浸水被害に対する排水対策を図ります。
- ・排水不良地域では、道路整備等に合わせた排水施設の整備を進め、排水不良地域の解消を図ります。
- ・バイオマスの推進など、資源循環型のまちづくりに取り組みます。

バイオマス再資源化プラント



八都第二小学校 舞台芸術体験事業「寄席」



朝市元気市



②快適な生活環境の形成の方針

市民の生活環境を支える基盤施設の計画的な整備を図ります。

-1. 公園・広場の計画的な整備

- ・橋ふれあい公園周辺は、自然環境を活かした公園区域の拡張及び施設の充実を図ります。また、地域住民の憩いの場として、誰もが利用しやすく親しみのある空間づくりを図ります。
- ・地区拠点や農村集落地または主要な道路沿道に、ポケットパーク等の休憩の場の確保を図ります。



-2. 河川の整備

- ・黒部川や中川等の河川を利用した潤いのある親水環境の創出を図ります。

-3. 上水道、下水道等の整備

- ・老朽化した水道施設の計画的な更新・改修を図ります。
- ・農業集落排水処理施設を計画的に改築更新していきます。また、浄化槽の普及促進に努めます。

-4. 市営住宅の充実等

- ・日下部住宅、向堆住宅の老朽化対策等についての調査を行います。

